

平成30年11月5日

地域振興課 担当：藤井 外線：076-225-1335 内線：3685
--

平成30年度国土交通省「地域づくり表彰」の受賞及び表彰式の
開催について

国土交通省が実施している「地域づくり表彰」において、本県が推薦した能登井事業協同組合（代表：坂本 信子）が表彰されることが決定し、下記のとおり表彰式が開催されることになりましたので、お知らせします。

なお、各賞の発表については、表彰式内で行われる予定であることを申し添えます。

記

1. 日時：平成30年11月12日（月） 16時30分～17時20分
2. 場所：フクラシア東京ステーション 5階K会議室
（東京都千代田区大手町2-6-1、朝日生命大手町ビル）
3. 内容：各賞（国土交通大臣賞、全国地域づくり推進協議会会長賞）の
発表、表彰状の授与等
4. 取材について：表彰式は公開で行います。取材をご希望の場合は、11月8日
（木）17時までに直接国土交通省までお申し込みください。
（当日は、開始5分前までに会場にお越しください。）
【連絡先】国土交通省国土政策局地方振興課
（担当：清水、馬場、横手）
TEL：03-5253-8404（直通）、FAX：03-5253-1588

※その他、「地域づくり表彰」の詳細などについては、添付の国土交通省プレスリリースをご覧ください。

平成30年11月2日
国土政策局地方振興課平成30年度「地域づくり表彰」表彰式の開催
～活力と魅力ある地域づくりを応援～

国土交通省は、このたび、今年度の「地域づくり表彰」の受賞団体を決定しました。11月12日（月）には、国土交通大臣賞など各賞表彰状の授与を行います。

「地域づくり表彰」は、地域間の連携と交流による地域づくり活動を推奨するために、創意と工夫を活かした個性的な地域づくりに顕著な功績があった優良事例を表彰する表彰制度であり、昭和59年度から始まり今年度で35回目となります。

1. 表彰式の内容等

- (1) 日時：平成30年11月12日（月）16:30～17:20
(2) 場所：フクラシア東京ステーション 5階会議室K
(東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル)
(3) 内容：各賞の発表 等

2. 「地域づくり表彰」受賞団体（活動の概要は別紙のとおり）

受賞団体	
まっかり温泉スリッパ卓球大会実行委員会 (北海道 ^{まっかり} 真狩村)	鯖江市役所JK課 (福井県鯖江市)
株式会社キャッセン大船渡 (岩手県大船渡市)	矢掛 ^{やかげ} の宿場まつり大名行列実行委員会 (岡山県 ^{やかげ} 矢掛町)
特定非営利活動法人ハッピーロードネット (福島県 ^{ひろのまち} 広野町)	一般社団法人そらの郷 ^{さと} (徳島県三好市)
能登井事業協同組合 (石川県 ^{すず} 珠洲市)	小岱山薬草の会 ^{しょうだいさん} (熊本県玉名市)

各賞の発表につきましては、表彰式内に行います。

3. その他

- 表彰式は公開で行います。取材を希望される方は、11月8日（木）17時までに下記問合せ先までお申込みいただき、開始5分前までに会場へお越し下さい。

【問合せ先】

国土交通省国土政策局地方振興課
清水、馬場、横手

TEL：03-5253-8111（内線29-583、29-584）

TEL：03-5253-8404（直通）

FAX：03-5253-1588

平成30年度「地域づくり表彰」事例の概要

(別紙)

受賞名 受賞団体	活動の概要	問合せ先
<p>まっかり温泉スリッパ卓球大会実行委員会 (北海道真狩村)</p>	<p>冬にまっかり温泉を訪れる観光客が減少傾向にあったため、真狩村商工会がまっかり温泉の指定管理者となった平成18年を機に、村の若者5名でイベントを検討し、温泉でスリッパを使った卓球大会を開催したら、面白いのではないかと思いつき、「スリッパ卓球大会」を考案した。 平成19年に第1回大会を開催し、第6回大会からは「全日本選手権」として実施し、毎年約100名の方が参加するようになった。人口2,000人の村に第1回から数え、延べ1,500名以上の方が参加している。 また、平成26年に全国7温泉地により全国ご当地温泉卓球協議会を組織し、持ち回りでご当地温泉卓球大会全国大会を開催している。</p>	<p>真狩村 総務企画課 0136-45-3613</p>  <p>スリッパ卓球大会</p>
<p>株式会社キャッセン 大船渡 (岩手県大船渡市)</p>	<p>大船渡市の中心市街地「大船渡地区」は商業・交易の要衝である重要港湾「大船渡港」を中心に、基幹産業の水産業をはじめとした体力のある企業が集積し、就業の場となっていたが、東日本大震災により、地区の大半が損壊・流失する。 そのような中、震災前よりも活気にあふれ、持続可能な市街地を形成するため、株式会社キャッセン大船渡を中心として官民(大船渡市と事業者・商店街・市民など)が連携し、社会基盤と市民の生活の場の再建およびコミュニティの再生を図るため、取組を「場づくり」「街のPR」「エリアマネジメント」の3つに分け、ハード・ソフト両面のまちづくりを実践している。</p>	<p>大船渡市 災害復興局 大船渡駅周辺整備室 0192-27-3111</p>  <p>キャッセン大船渡</p>
<p>特定非営利活動法人 ハッピーロードネット (福島県広野町)</p>	<p>特定非営利活動法人ハッピーロードネットは福島県浜通りの子供たちが将来楽しく住みやすい地域社会を実現することを目指しさまざまな活動を展開。 主な活動としては3つあり、一つ目は「ハイスクールサミット」。これは、地域を担う人材育成を目的に高校生と大人が未来の街づくりについて一緒に考えるフォーラムで、平成18年から始まり昨年までで14回開催。 二つ目は「みんなでやっべ!!きれいな6国」と題する国道6号の清掃活動。地域の高校生を中心に青年会議所や地元企業などボランティアにより毎年実施し、活動の輪が広がっている。 三つ目は「ふくしま浜街道・さくらプロジェクト」で、地元高校生の思いから始まったものである。東日本大震災及び原発事故により離ればなれになっている地域の人々をつなぎ、将来的には咲き誇った桜並木を復興のシンボルとして世界へ発信し後の世代に残していくため、約2万本を目標に毎年植樹活動及び維持管理を実施している。</p>	<p>広野町 復興企画課 0240-27-1251</p>  <p>「ふくしま浜街道・さくらプロジェクト」で 植栽された桜</p>
<p>能登井事業協同組合 (石川県珠洲市)</p>	<p>平成19年に奥能登2市2町(輪島市・珠洲市・穴水町・能登町)や県、奥能登の民間事業者や地域づくり団体等のメンバーが連携し、過疎化・高齢化が進む奥能登の活性化・活力維持のため、奥能登の地域資源の掘り起こしや交流人口の拡大を目指す「奥能登ウェルカムプロジェクト」を発足した。食の魅力の活用を目指す「奥能登食彩紀行」のチームを立ち上げたことをきっかけに、奥能登の豊かな食文化を活用した新たな地域ブランドの確立を目指し議論を重ねた結果、「能登井」が誕生し、食材、食器、調理に関する定義を守った各店舗のオリジナルの井の提供を開始した。 平成22年には、販売店舗による能登井事業協同組合を設立し、行政主体から地元主導へとシフトした。平成23年12月には「能登井」の地域団体商標登録し、平成29年には、組合監修の能登井弁当を開発し、販売手数料でパンフレットの作成や東京の旅行会社に営業を行うなど取組を進めている。</p>	<p>珠洲市 観光交流課 0768-82-7776</p>  <p>奥能登の豊かな食文化を活かした 「能登井」</p>

<p>鯖江市役所JK課 (福井県鯖江市)</p>	<p>鯖江市は、「市民役・市民協働」のまちづくりを進めてきたが、活動は一部の市民や特定の団体の間に留まることが多く、その裾野を広げることが課題であった。特に女性の高校卒業後の転出や地域離れは顕著になっており、おしつけることなく、地域に興味や関心・愛着を持ってもらうための施策が必要であった。</p> <p>そこで鯖江市では、若者や女性が日常生活の中で気軽に地域活動に参加し、自分ごととして楽しみ続けてもらうための実験的プロジェクトとして、2014年4月に「鯖江市役所JK課」を立ち上げた。</p> <p>ネーミングや手法等、大胆な提案に対し、行政としてどう対応していくのが懸念されたが、女子高校生自らが企画し、大人を巻き込みながら地域活動を実践することを通じ、若者や女性が進んで行政参加を図っていく新たなモデル都市となることを目指している。</p> <p>参加した女子高校生たちは自由な環境下で自らが企画し、大人や地域を巻き込みながら、年間80日、20回以上の事業実施という実績をあげて、多様な活動に取り組み続けている。</p>	 <p>JK課が地場産業のPRを行う様子</p>	<p>鯖江市 総務部市民まちづくり課 0778-53-2215</p>
<p>矢掛の宿場まつり 大名行列実行委員会 (岡山県矢掛町)</p>	<p>矢掛町は、江戸時代に山陽道の宿場町として栄えた町で、宿場町の中心街であった矢掛商店街には、参勤交代の際に大名などが宿として利用した本陣・脇本陣が現存し、地域住民が日常的に歴史に触れることができる。</p> <p>昭和49年から、地域住民により、この歴史的資産を活かすイベントについて研究検討がされていた状況の中で、矢掛町を襲った昭和51年の台風による大災害からの復興をきっかけとして「矢掛の宿場まつり大名行列」が商店街の復興と町の賑わい創出のために開催された。以来40年以上にわたり、毎年11月に開催し、今年で43回目となる。実行委員会だけでなく、町内の企業や個人からも大名行列への参加者を募り、また、地元にある岡山県立矢掛高等学校も積極的に参画している。さらに、近年ではサンフランシスコ桜まつりでの大名行列の披露や町内企業で研修を受けている海外研修生や留学生などが行列に参加するなど、国際交流にも貢献。また、旧山陽道と歴史的資産の古い町並みを活かす取組にチャレンジしている。</p>	 <p>矢掛の宿場まつり大名行列</p>	<p>矢掛町 総務企画課 0866-82-1010</p>
<p>一般社団法人そらの郷 (徳島県三好市)</p>	<p>一般社団法人そらの郷は、「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」の観光地域づくりプラットフォームとして、また、「日本版DMO」として、「にし阿波」の観光地経営のかじ取り役として、地域の多様な関係者と一体となって観光地域づくりを推進している。</p> <p>特に官民が連携して推進するインバウンド誘客については、戦略的な取組(海外での旅行会社への営業活動、海外からの視察旅行の実施、旅行商談会への出展等)により、外国人宿泊客数が大きく伸びている。</p> <p>また、体験型教育旅行の受入拡大についても取り組んでおり、大都市圏の旅行会社への積極的な営業活動や農業体験が教育に及ぼす効果の認識の高まりにより、受入件数が増加しており地域の活性化につながっている。</p>	 <p>外国人観光客へのガイド</p>	<p>徳島県 西部総合県民局 観光振興部 0883-76-0374</p>
<p>小岱山薬草の会 (熊本県玉名市)</p>	<p>玉名市は昭和後期頃まで、自然の薬草を利用して家庭薬を作る処方が伝承されていたが、時代の変遷とともに伝承を語り継ぐ家庭が少なくなってきた。この自然の恵みを活用できないかと玉名市役所の発案により、崇城大学に協力を要請し、市民の賛同者を募り、「小岱山薬草の会」を平成19年に設立した。</p> <p>設立後、小岱山薬草の会は同大学教授から薬草知識の講義や実践を学び、市民に身近な薬草を活用する啓発活動を開始した。</p> <p>主な活動内容は①薬草知識を広める活動である薬草講演会及び薬草講習会の開催、薬草花壇の設置と管理や②薬草活用を推進する活動である薬草料理教室の開催、薬草料理レシピ公開等、③啓発研修活動である薬草活用商品販売、全国薬草活用団体との交流があり、これらの活動の結果、第1回全国薬草シンポジウムを玉名市で開催、その後毎年全国に拡大し今年第7回は奈良県で開催。</p> <p>平成28年度からは玉名市と協働で「玉名薬草の里づくり協議会」を立ち上げ、より広く市民に対して薬草活用情報のPR活動を推進している。</p>	 <p>全国薬草シンポジウム</p>	<p>玉名市 地域振興課 0968-75-1421</p>